

各種の保険中本村に於て行はれてゐるものは、生命保険火災保険を其主なるものとし、徴兵保険簡易保険等各種保険が行はれてゐる。本村に代理店をおいてゐるのは左の諸會社である。

生命保険 片倉生命保險會社・日華萬歲生命保險會社・橫濱生命保險會社・三井生命保險會社・仁壽生命保險會社  
 徴兵保險 第一徴兵保險會社・富國徴兵保險會社

#### 第四節 産業組合

社會各人各個が各々異なる所の經濟方途をたぐるは最も幼稚な營業步調で社會の進歩發達するにつれてかやうな方法では間に合はず、茲に一致團結して社會の進運に適合する様に生れ出たのが産業組合である。本村に於ける産業組合の設立は現存せるものについて調べるに先づ最初大正七年九月有限責任余野信用販賣購買利用組合設立せられ、續いて大正十二年三月保証責任小口信用購買利用組合設立せられ、翌大正十四年一月河北信用購買組合が設立された今之を大別して述べる。

##### 第一項 保証責任小口信用購買利用組合

大正十二年三月廿三日の創立にして當村仙田義式、酒井常一、大島政次郎、西村悦太郎、酒井信十郎、近藤万次郎、

酒井金作、伊藤廣吉、酒井政重、渡邊秀太郎、近藤益重、酒井收衛、酒井鉄郎、安藤勝、田中義盛の諸氏發起し、下小口一圓の農家を組合員となし左の目的の下に組合を設立した。尙本組合の創設される數年前から申合組合なるものを設けて簡單な肥料の共同購入或は日用品の共同購入等の事業をなしてゐた。

##### 本組合の目的

- 一、組合員に必要な資金を貸付し及貯金の便宜を得しむ
  - 二、産業又は經濟に必要なものを買入れて、之に加工し若くは加工せずして組合員に賣却すること
  - 三、組合員をして産業又は經濟上に必要な設備を利用せしむること。
  - 四、組合員の經濟の發達に必要な資金を貸付し及び組合員と同一の家に在るもの、公共團體若しくは營利を目的とせざる法人又は團體の貯金を扱ふこと
  - 五、農業倉庫業法に依り農業倉庫の經營をなす
- 尙本組合は純組合員本位にして朝は十二時に開き日用品肥料等の販賣を行ひ資金の融通をなし日没を以て閉場する。本組合の共同購入して之を組合員に販賣してゐるものに米、麥、味噌、醬油、塩、油類、紙類、履物、砂糖、燐寸、蠟燭、蠟燭、學用品、麵類、肥料、飼料等がある。左に最近十ヶ年の組合業績を示せば

年次	組合員数	出資拂込金	貯金	貸付金	購買高	剩餘金
初年度	一一七	三、二四八	八、〇七六	四、一一四	一四、一五八	一、三三三
二年度	一一七	五、〇七五	一一、六六三	一一、九八四	一七、一六三	一一三
三年度	一一七	六、七一〇	五一、三四八	九、四六六	一九、八一二	四七六
四年度	一一八	七、五一一	四八、六五五	一六、一六八	一七、七八三	三九〇
五年度	一一三	七、三九五	四九、九七五	一八、六三八	一五、四八六	三〇九
六年度	一一七	七、九五一	五一、六〇九	二〇、三六一	一五、七二一	三二一
七年度	一一三	七、九八九	六五、二一七	二三、四九八	一九、九五七	損 三〇〇
八年度	一一三	八、〇二五	五三、五六四	二九、九八一	一五、七二五	損 三〇〇
九年度	一一二	七、九六一	四六、七一四	二一、七一九	一一、〇四〇	六〇〇
十年度	一一〇	八、〇三四	四三、〇六六	一九、〇一六	一二、二二三	五二八

農業倉庫

農業倉庫は昭和二年に建設せられ、木造平家建なるも内部は全部鐵筋コンクリートである。建坪本間六十坪庇十坪合計七十坪あつて其工費八千七百圓を要し收容力は玄米五千俵である。この倉庫は主として組合員の米麥を保管し保管料

として普通保管は月二錢を受入れる事になつてゐる。尙毎月三回共同販賣を行ひ販賣手数料は一俵につき金五錢を收入することになつてゐる。今左に建設以來の成績を示せば

年次	總入庫	販賣數	總收入金	總支出金	差引利益金	建物償却金
昭和三年	二、四三〇 <sup>俵</sup>	一、八一三 <sup>俵</sup>	五二・一〇 <sup>円</sup>	二六〇・七六 <sup>円</sup>	二六〇・二四 <sup>円</sup>	四一八七 <sup>円</sup>
昭和四年	一、五三二	七五一	三四四・八一	一九八・八二	一四五・九九	一一八・〇〇
昭和五年	四、一二四	一、六三七	四四一・六八	二二三・二九	二一八・三九	一一〇・〇〇
昭和六年	二、二七九	一、九二三	五六一・七九	二一九・九八	三四一・八一	二四五・一〇
昭和七年六月末	二、八五二	六一一	一四六・〇九	一三六・四二	九・六七	差引倉庫 三八九四・六九

第二項 有限責任余野信用販賣購買利用組合

本組合は大正七年九月廿日創立された。以前は下小口同様申合組合なるものがあつて、肥料、器具の共同購入をしてゐたが、近藤彌十郎、伊藤市太郎、吉田清吉、近藤儀兵衛、近藤貞左工門、山田健壽、伊藤亮、伊藤賢一、吉田春吉、吉田善右工門、倉地康廣、近藤兼三郎、吉田甚逸、吉田兵吾、吉田年榮、吉田初吉、長島清、近藤善壽の諸氏發起となり現在の場所に事務所を新設して事業を開始した、現在行ひつゝ、ある事業は信用定期償還貸付 年賦償還貸付

組合員に利用されつゝあるもの 精穀設備 倉庫設備 及冠婚葬祭用具  
 共同購入をして組合員に販賣しつゝあるもの 農蠶具、肥料、飼料、米麥、味噌、溜、塩、油、紙類、砂糖、履物、燐  
 寸、鯨節、酢、蠟燭、學用品、麵類、其他日用品全部  
 組合員の生産物を共同販賣するもの 麥、繭、雞卵、菓細工品等である。

第三項 有限責任河島信用購買組合

明治卅九年二月設立された二津屋購買組合と秋島信用購買組合とが、大正十一年に合併して今日の河島信用購買組合  
 が出来た。而して明治、大正にかけて報徳主義の組合として徳義の上に立ち農村の風紀を改良する等郡内の優良組合とし  
 て表彰されたが、近年經濟本位の大規模の組合が發達し、大勢亦この種組合を獎勵し本組合の如き小區域の組合では此  
 處數年間何等の發達の跡を見る事が出来ない様になつた。併しその經營は極めて堅實である。  
 信用 組合員の産業及經濟に必要な資金を貸付し及び貯金の便を得しむ。尙團體の貯金を取扱ふ。  
 購買 殆んゞ日用品全部  
 營業日 購買毎月四・九の日 月六回、信用 毎日晝夜の別なし。

組合成績概要

年 度	口 數	出 資 金	組 員 數	貯 金	貸 付 金	購 買 高	剩 餘 金
昭和元年	一七〇〇口	五一〇〇円	四九	二五、六六五円	一〇、五二〇円	四、九〇五円	四七二円
昭和二年	一七〇〇	五一〇〇	四九	一九、八九一	一一、四九四	二、六三五	六三八
昭和三年	一七〇〇	五一〇〇	四九	一七、〇一九	一〇、九四五	二、八七五	三六二
昭和四年	一七〇〇	五一〇〇	四九	一七、一三八	一一、六二六	三、〇〇一	三六八
昭和五年	一七〇〇	五一〇〇	四九	一六、〇六七	一一、八三六	二、八一四	三四九
昭和六年	一七〇〇	五一〇〇	五〇	一六、二七四	一一、九〇四	一、九九二	三六七
昭和七年	一七〇〇	五一〇〇	五〇	一三、七四二	一〇、五九一	二、〇九八	三〇〇

産業組合表

組 合 名	出 資 金	組 員 數	口 數	所 在 地	組 合 長
保證責任小口信用購買 利 用 組 合	八、五〇〇円	一二九	四二五	大口村大字小口字前田一三三三	仙田 義弼
有限責任余野信用購買 販 賣 利 用 組 合	一〇、〇六〇	一三一	五〇三	大口村余野西浦一一一	近藤 彌十郎
有限責任河島信用購買 組 合	五、一〇〇	五〇	一七〇	大口村大字小口・河田二二地	水野 住五郎